

サンシュユ

【 *Cornus officinalis* 】

科名 ミズキ科

属名 ミズキ属

薬効・用途

成熟果実から種子を抜いたもの（山茱萸サンシュユ）を滋養強壮、収斂薬とする。八味地黄丸、牛車腎気丸、六味丸（六味地黄丸）などの漢方方剤に配合される。



・花期：2～3月

備考

落葉小高木。朝鮮、中国に自生する。日本には薬用植物として伝えられ、現在では観賞用として多く栽植される。和名は、中国名の山茱萸を日本語読みしたもので、茱萸はグミのことを指し、グミに似た楕円形で光沢のある果実を付ける。牧野富太郎博士はハルコガネバナの和名をつけた。果実は10月頃真っ赤に熟すことから、アキサンゴとも呼ばれる。両性花。